

# 会 議 録

## 1 会議名

令和5年度 第4回和田区地域協議会

## 2 議題（公開・非公開の別）

（1）自主的審議事項「上越妙高駅周辺の整備、活性化について」（公開）

## 3 開催日時

令和5年9月20日（水） 午後6時30分から午後7時12分まで

## 4 開催場所

ラーバンセンター 第4研修室

## 5 傍聴人の数

0人

## 6 非公開の理由

—

## 7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：有坂正一（会長）、宮崎雅彦（副会長）、草間雄一、佐藤勝雄、篠原精子、平原留美、山岸優子、横田英昭（欠席6人）
- ・事務局：南部まちづくりセンター 大島所長、滝澤副所長、石黒係長、難波主任

## 8 発言の内容

### 【石黒係長】

- ・植木委員、片田委員、金子委員、佐藤力委員、清水委員、高橋委員を除く8人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務めることを報告。

### 【有坂会長】

- ・会議録の確認：草間委員に依頼  
次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

### 【滝澤副所長】

- ・配布資料の確認

- ・次第に基づき、議題の確認

**【有坂会長】**

- ・「議題等の確認」について質疑等を求めるがなし。

— 次第3 議題（1）自主的審議事項「上越妙高駅周辺の整備、活性化について」 —

**【有坂会長】**

次第3 議題（1）自主的審議事項「上越妙高駅周辺の整備、活性化について」に入る。

事務局より説明を求める。

**【石黒係長】**

- ・資料No.1、当日配布資料No.1により説明

**【有坂会長】**

- ・説明について、質問のある委員の発言を求める。

これまで皆さんからいただいた提案・意見から今後の協議の対象を決めていきたいと思う。最終的に協議をどのような形に集約するか、市へ意見書の提出、地域独自の予算の活用なども含めて一人ずつ考えをお聞きしたい。

なお、協議の対象とする提案、意見は必ずしも一つに絞る必要はない。全部としても結構だが、残りの任期及び実現性を踏まえた上で発言をお願いする。

**【草間委員】**

資料No.1にある提案・意見のうち、どれをどのようにやるかという考えがまとまっていない。

意見書と地域独自の予算の活用、大きく二つの方法があると思うが、何をやってもらうか決まっていないと実施団体をお願いする、あるいは自分たちで新たにグループを作ることも難しいと思うので、意見書のほうになるかと思う。何を市をお願いするかをこれからまとめればよいのでないか。

**【有坂会長】**

今日はこれまでに提案された意見が幾つもある中で、どれか一つでもよいし、い

くつか挙げてもよいので、皆さんがそれぞれに思っていることをお話し願いたい。最終的にすべて取り上げるか、いくつかに絞るかは今後決めることになると思う。実施団体をどうするかではなく、このようなことをやったほうがよいのではないかとということをお話し願いたい。

**【佐藤勝雄委員】**

実現性について○印がついている「人材」「看板」を優先的に進めればよいのではないか。今までも審議してきたが、釜蓋遺跡が北陸新幹線の乗降客に周知できていないので、上越妙高駅西口の光のテラスのガラスに釜蓋遺跡の案内表示等を工夫する。これが実現できればよいと思う。こちらも意見書並びに予算がとれれば実現できるのではないか。ただし、JRの建物なので利用することができるのかどうか。自由通路になるのか。どのような看板とするかなども検討が必要である。

**【篠原委員】**

実際どのように行うかまではイメージは浮かばないが、講演会や音楽会のようなイベントはできるかと思う。

「その他」のところ、地域の人意見を聞いてみたいと思っていたのだが、町内側の「意向なし」というのは意外であった。

**【有坂会長】**

篠原委員としては、イベントを主体として地域独自の予算を活用して実施するというお話かと思う。

**【平原委員】**

今まで協議会の中で協議してきたこととして、地域おこしの肝になるのが釜蓋遺跡ガイダンスのにぎわいづくりというところであると思うので、実現性について○、△、×で評価されているが×はないと思っている。将来的に、×を△から○にしていく、地域協議会の中で協議してきたことを実現できるようにしていくということが、理想的かと思っている。そこで、ネックになるのが任期の問題である。任期が終了した後も途絶えることなく釜蓋遺跡ガイダンスが盛り上がっていくことで今までの審議が意味あるものになる。

篠原委員がおっしゃった町内の意向もいずれ聞いていきたいというようになっ

てくると思う。そういったことがだんだん解決されてくると、スーパーの出店などに繋がっていくのではないか。

ただし、任期の問題があり、今審議できることとできないことをここで決めたとしても、最終的に何か活動ができるようなタイミングではなくなってしまっている。急いだとしても、令和7年度の事業提案に思いを託す形になる。そうであれば草間委員が先におっしゃったように、意見書という形で令和7年の活動に繋がるような意見書の提案ができるとういことかと思う。

**【有坂会長】**

令和7年度に活動ができるようなものとして、どのような提案を意見書にまとめるか、この中から決めることができればそれを言っていただきたい。それは特にないか。

**【平原委員】**

具体的なところは見当たらない。釜蓋遺跡応援団の皆さんがおっしゃっているように、人手不足というところで皆さん、生活や仕事がある中で人を探す、時間を調整するのは時間がかかる。人手の問題を解決できる何かがあればよいと漠然と思っている。

**【有坂会長】**

釜蓋遺跡応援団の人たちの人手不足については、地域協議会だよりや市の広報で募集するなど、そのような案内はすぐに実施可能であり、そのような方面から進めていけると思う。どのくらい集まるかは未知数だが、平原委員としては今の考えでよろしいか。

**【平原委員】**

中山間地だと地域おこし協力隊がいると思うが、和田区は都市型になってくるので、課題解決型の協力隊の皆さんと異なるというか、何に課題があって地域おこし協力隊が必要なのかというところが弱い。釜蓋遺跡を全市を挙げて盛り上げようという気運があれば、何か力がかかって地域おこし協力隊が必要になって、盛り上げなければならないというような意識が高まると思う。なぜ地域おこし協力隊が必要か、そういったところまでは答えられないが、釜蓋遺跡を何とかしたいというところ

ろで一つのアイデアとして提案する。

#### 【山岸委員】

「実現性」に○印がついている「PR」と「小・中学生の遺跡の見学を誘致」はできると思うので、やってみたらよい。

看板については、西口の光のテラス等に釜蓋遺跡を案内する掲示板をつける。それと、△印になっているがイベントを釜蓋遺跡でやったほうがよい。

#### 【横田委員】

私は花壇で景観づくりができないかと提案した。根が深く張るものは駄目だというお話もあったが、公園の中ではなくて今、実際に花が植えられている公園の欄干のところに1畳分ぐらい「このエリアをどうぞ」というような形で住民に開放できないか。その条件として「釜蓋遺跡の応援団に入る」としてはどうか。

「人材」のところ、大潟区地域協議会による鵜の浜人魚館サポーターズクラブの例があるが、組織でないと何も動かないのかと感じていた。両方とも△印なので難しいと思うが、私はそちらを意見とさせてもらう。

#### 【有坂会長】

花壇の場所を提供する条件として応援団に入らせていただくということを進めてはどうかということか。

#### 【草間委員】

花壇のことだが、今花壇のあるエリアは史跡外であり管理するメンバーは決まっている。史跡は耕せないのであれば、上に30センチぐらい土を入れてもらって、そこを家族単位で花壇として貸し出すことはできないか。駄目だと言われそうだが、何かするとすれば、もう土を盛るしかない。花一本植えるにしても、30センチは高く、現状より平らにしないと結局は何もできない。また、既に花壇をやっている人たちの歴史もあり、なかなかその間に入って行くことは難しい。今アパートやマンションに住んでいる人や町中に住んでいる人に向けて、小学生のお子さんと一緒に家族で花壇をやりませんかというような貸し出しができないものか。相当土を入れなくてはならないし、その許可を取ることも大変であろうから無理かもしれないが、アプローチしてもよいのではないか。

他のやれそうなこと、看板などは意見書とすればよい。

【有坂会長】

事務局に聞きたいのだが、今の草間委員の発言で、ここを盛土するというのは可能なのか。

【石黒係長】

確認しないとわからないが、将来的に発掘調査する際にその土をどける手間が生じるので厳しい印象を受けた。

【有坂会長】

土に盛るにしてもどの範囲に盛るか。全部盛ることはまず不可能であろうから、発掘調査が終わった場所に限定して土を盛るというのであればまだ可能性はあるかと思う。遺跡の上に土を盛ること自体は、私自身は反対であるので意見として聞く。

【宮崎副会長】

資料No.1の提案・意見のうち、単純に言うと○か△印のできることをやればよいのではないか。

意見書と地域独自の予算の活用については、地域独自の予算の場合は、実施候補団体の選定や打診があるので、現実的には難しいかと思う。従って、意見書にどのようなものを盛り込むかを協議すればよいと思う。

また、花という意見が出てきたが、3年半ぐらい前に、花いっぱいにしたかどうかという話があった。最近、アパートのすぐそばで春は菜の花、夏はヒマワリが咲くと新聞に掲載され、写真を映している人も多くいた。釜蓋遺跡公園の花壇も春は菜の花、夏はつくし工房さんたちが市からの依頼でヒマワリを栽培しており、ぜひ継続的にやってもらいたいと思う。先日、関川の河川敷で有田小学校や春日新田小学校の人たちがコスモスの種を蒔いた。釜蓋遺跡も春夏秋と、菜の花、ヒマワリ、コスモスを植えるとよい。横田委員と草間委員から花壇の意見があったが、発掘しない場所も当然あるわけだから、そこを花壇にして市民の人たちに開放することも一つの方法かと思う。

平原委員から、地域おこし協力隊という意見があったが、地域おこし協力隊につ

いてもう少し勉強して、釜蓋遺跡の関係で活用できるものであれば活用したほうがよい。そこは、諦めずに研究することも一つである。

なお、上越妙高駅の自由通路はJRのものではなくて上越市のものだと思う。JRは自由通路を作らない。

【有坂会長】

確かに市の施設かもしれない。

【石黒係長】

市の施設で所管が道路課になる。

【有坂会長】

市との協議だけで話をまとめられるということか。そうすれば、実現の可能性は大きいと思う。

【宮崎副会長】

自由通路は市の管轄と言われたが、小学校関係でポスターを貼るとか、そういう場合はJRに許可を取っていたように思うがその必要はないか。

【石黒係長】

確かにそうである。のぼり旗の内容についてJRや越後トキめき鉄道と協議を要したと聞いたことがある。

【有坂会長】

どちらにしても、協議すれば実現する可能性もある。どこかと話をしなければ何もできない。自由通路なり全体についてどこと協議が必要か、次回の協議会で示せるように事務局に調査願う。

【佐藤勝雄委員】

宮崎副会長が地域独自の予算の活用において、実施団体を見つけるのが大変だと言われたが、釜蓋遺跡応援団と調整していけばよいのではないか。

【宮崎副会長】

私も確認していないが、釜蓋遺跡応援団というのは市の文化行政課の補助的な組織なのか。

【石黒係長】

文化行政課の話では、コロナ禍による活動の停滞から回復に向け動き出した段階にあり、現段階ではそういった連携や新たな取組の実施は難しい、時期尚早と助言があった。

**【佐藤勝雄委員】**

5類に移行し社会活動が元に戻りつつある中で、行政としてそのような方向ではないのか。

**【石黒係長】**

人手不足などもあり新たな動きに対応できる状況にないということである。

**【有坂会長】**

人手不足という話は先ほどの広報や地域協議会だよりで募集するなど、いろいろな方法でアタックして人を集めることはまずできると思う。それを待っていないくても、今いる人だけでもできる何かを提案していけばよいのではないか。

応援団は、市からの依頼だけでなく団体独自の活動も行っている。そのようなことを提案してもよいと思う。資料No.1のどれかを釜蓋遺跡応援団にお願いするということを進めてもよいのではないか。

**【石黒係長】**

それは厳しいと文化行政課から助言があった。

**【有坂会長】**

何か足かせがあるのか。

**【佐藤勝雄委員】**

文化行政課にひもづく組織なのか。単独で事業をしているのではないのか。

**【滝澤副所長】**

釜蓋遺跡応援団の関係は、今年の4月の協議会の際に釜蓋遺跡応援団の意見を聞いて進んでいこうということで決まって、文化行政課に相談をしたところ、先ほど申し上げたとおりコロナ禍後、軌道修正を図っている途中なので新しいものをお願いする状況にはないということを確認し、5月にここで報告させてもらった。今再び議論がそちらに向かっているが、厳しいという状況はその後変わっていないという前提で協議いただきたい。



【有坂会長】

現段階では応援団を頼り過ぎてはいけないということである。

【佐藤勝雄委員】

応援団に加入している宮崎副会長に頑張ってもらいたい。

【有坂会長】

皆さん、ぜひ釜蓋遺跡応援団に加入していただきたい。

私としては、上越妙高駅の周辺の活性化ということで一番活動しやすいのが釜蓋遺跡の活用なり、活性化ということだと考えている。これまでの提案・意見の中で妙高市を含む小中学校への遺跡見学のアピールは実行しやすいと思うので、手始めとして取り掛かりたい。

他に実現の可能性のあるものは、先ほど佐藤勝雄委員も言われたように看板である。光のテラスから釜蓋遺跡の立て看板が見えないので、前回の協議会の時にも意見が出たと思うが、テラスのガラスの上は無理でも人の腰の高さの位置に案内看板を設置するということが必要ではないかと考えている。

今後、事務局と正副会長で相談し調整したい。その結果については、次回かその次の協議会にはお示しできると思うので、また皆さんから意見いただきたい。次回にまとめて発表し、そこで決定したい。

以上で次第3 議題（1）自主的審議事項「上越妙高駅周辺の整備、活性化について」を終了する。

— 次第4 事務連絡 —

【有坂会長】

次第4 事務連絡 に入る。

事務局より説明を求める。

【滝澤副所長】

・今後の地域協議会の日程連絡

第5回地域協議会：10月18日（水）18：30から

会場：ラーバンセンター第4研修室

第6回地域協議会：11月15日（水）18：30から

会場：ラーバンセンター第4研修室

・その他配布物

高士区、安塚区、大潟区の地域協議会の意見書

諏訪区、直江津区、浦川原区、大島区、清里区の地域協議会の「地域活性化の方向性」

「上越まるごと文化祭」パンフレット

上越市男女共同参画推進センター講座チラシ2種類

【有坂会長】

- ・ただ今の説明について質問を求めるがなし
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : [nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp](mailto:nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp)

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。